

福島県沿岸におけるタチウオ、トラフグ、イセエビの漁獲状況

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業—資源管理—その他魚類(海)、エビ類

2 担当者名

池川正人

3 要旨

近年、沿岸漁業におけるタチウオ、トラフグ、イセエビの漁獲量が急増しているが、福島県海面漁業漁獲高統計の非対象種であり、これまで資源状況についてはほとんど整理されていない。今回、資源の有効利用のための資料とするため、魚種の分離が可能な2000年以降の漁獲量の年推移について整理した(表1)。その結果、3種とも増加傾向であることが窺えた。

(1) 2000～2011年については、漁業協同組合の統計内でタチウオ、トラフグ、イセエビと明記されているものを集計した。組合によっては分離されていなかったため(その他の魚、その他のエビ等として扱われていた)、過小評価の可能性はある。

(2) タチウオの震災前(2000～2010年)の年平均漁獲量は4,212kg、近年(2020～2022年)は52,175kgであった。

(3) トラフグの震災前の年平均漁獲量は1,264kg、近年は23,432kgであった。

(4) 2000～2011年においてトラフグは漁協によって魚種別に分けられておらず、その場合、その他のフグ類といった形で扱われていた。トラフグの単価は1,000円/kg以上のものが大半であり、他のフグ類の大半が数百円/kg以下である中で突出して高いが、こうした別魚種の中にみられる単価が高いものをトラフグとして集計した場合、今回示した各年の値より2～3割程度多くなる見込みである。

(5) イセエビの震災前の年平均漁獲量は1,740kg、近年は6,052kgであった。

表1 タチウオ、トラフグ、イセエビの年別漁獲量(kg)

年	タチウオ	トラフグ	イセエビ
2000	10,497	1,391	5
2001	10,543	638	136
2002	9,537	701	4,934
2003	6,912	1,291	5,313
2004	1,575	1,176	1,347
2005	210	1,112	989
2006	2,306	860	1,089
2007	2,816	1,680	768
2008	1,301	1,630	1,002
2009	487	1,586	1,608
2010	154	1,840	1,952
2011	22	749	14
2012-14	-	-	-
2015	140	-	-
2016	323	43	-
2017	622	114	59
2018	4,051	183	592
2019	5,428	2,866	3,747
2020	14,986	6,317	4,483
2021	43,287	27,839	6,159
2022	98,251	36,140	7,515

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

5 主な参考文献・資料

(1) 県内各漁業協同組合の漁獲高統計

R4は速報値